

# 社会資本総合整備計画

頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり  
(防災・安全)

令和7年度 川崎市公共事業評価審査委員会

# 計画策定の背景

- 川崎市では計1,292箇所、約776haの公園を設置し、市民利用に供している
- 平成27(2015)年度時点で補修・更新を要する遊具は全体の約半数を占め、多くの施設の更新時期が集中するため、計画的な補修・更新を進める必要があった
- 国においては、全国のあらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現するため、「インフラ長寿命化基本計画」(平成25(2013)年11月関係省庁連絡会議決定)を策定
- 本市においては、老朽化による施設更新の課題と国からの要請を踏まえ、個別施設計画の一つとして平成28(2016)年3月に「川崎市公園施設長寿命化計画」(計画期間:平成28年度～令和7年度)を策定
- 本整備計画は、「川崎市公園施設長寿命化計画」に基づく公園施設の長寿命化対策を位置付けるもの

## 【国】インフラ長寿命化計画（基本計画）

## 【川崎市】資産マネジメント第3期実施方針 (行動計画／公共施設等総合管理計画)

## 【川崎市】施設分類ごとの方向性・各種計画 (個別施設計画)

### 〈公共建築物〉

- ・ 学校施設長期保全計画
- ・ 第4次川崎市市営住宅等ストック総合活用計画 等

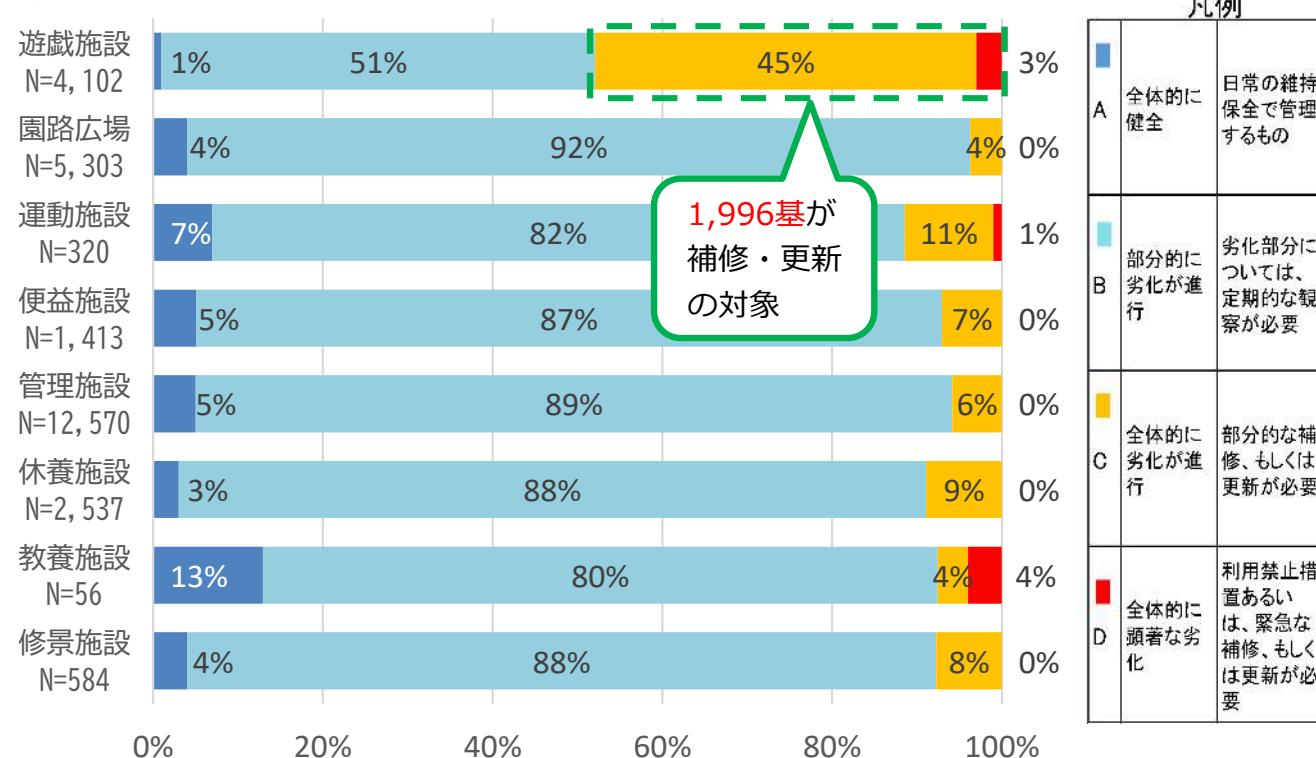
### 〈インフラ施設〉

- ・ 川崎市道路維持修繕計画
- ・ **川崎市公園施設長寿命化計画** 基づく  
・ 本社会資本総合整備計画
- ・ 川崎市橋りょう長寿命化修繕計画 等

# 「川崎市公園施設長寿命化計画」策定時(H28.3)の状況

- 約2万7千ある公園施設のうち、遊戯施設（遊具）4,102基については国基準に基づく専門家による点検により、1,996基の補修・更新が必要な結果となった
- 遊具は、劣化判定の悪い施設が半数を占めていることから、優先的に対策を進めることとした

## ◇公園施設の劣化状況 (H27)



なお、劣化の進行により新たに補修対象とした遊具や、撤去のみを行ったことにより更新対象外とした遊具等があることから、補修・更新が必要な遊具数は変動した。

区分	H27 (計画策定時)	R7
市が管理する遊具の数	4,102基	4,102基
うち補修・更新が必要な遊具	1,996基	1,959基

# 社会资本総合整備計画の概要

## 「頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり（防災・安全）」

### 【計画の目標】

本市の地域防災計画において広域避難場所に指定される公園緑地の整備・拡充により、災害時の避難場所、市街地の延焼防止、救援活動及び物資集積等の拠点となるオープンスペースを確保するとともに、防災・減災に寄与する施設整備を行い、防災機能の向上を図る。（※）

また、老朽化した公園施設の計画的な更新・改築を行い、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園緑地の整備を推進する。

※防災機能の向上に関する要素事業が別計画「全国都市緑化フェア開催に関する都市公園の整備」に移行。

移行後の計画において目標達成を見込むため、防災機能の向上に関する目標は本計画の対象外となる。

### 【計画の期間】 令和3年度～令和7年度

### 【当初計画からの変更内容】

- 令和4年11月：「都市公園安全・安心対策事業（5か年老朽）」を追加（\*1）
- 令和6年2月：「都市公園事業（富士見公園）」を他計画に移行するため、本計画から除外（\*2）
- 令和6年2月：「都市公園事業（等々力緑地）」を本計画から除外（\*3）
- 令和6年2月：「都市公園安全・安心対策事業」に、長寿命化対象施設（大師公園・大師球場照明塔）を追加（\*4）

\*1 令和4年度補正予算を活用し、防災・安全交付金（都市公園・緑化等事業）により「防災・減災・国土強靭化のための5か年加速化対策」を実施するもの

\*2 全国都市緑化かわさきフェアのメイン会場としての施設整備を一体的に行うため、要素事業を別計画「全国都市緑化フェア開催に関する都市公園の整備」に移行したもの

\*3 再編整備事業の見直し（PFI手法の採用等）により、当初計画における事業手法・スケジュールを見直したことによるもの

\*4 専門家による健全度調査及び健全度・緊急度判定の結果、当該照明塔に顕著な劣化が見られ、優先して更新するために追加したもの

# 社会资本総合整備計画の概要

## 要素事業

番号	事業名	事業内容	事業実施期間					全体事業費 (百万円)
			R3	R4	R5	R6	R7	
A12-001	都市公園安全・安心対策事業（5か年老朽）	長寿命化対策 (遊戯施設、公園施設改築・更新)						70
A12-002	都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策 (遊戯施設、公園施設改築・更新) ※富士見公園長方形競技場 及び大師球場の照明塔更新を含む						1,833
							合 計	1,903

## 成果指標（定量的指標）

番号	指標名	現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
A12-001、 A12-002	川崎市公園施設長寿命化計画に基づき更新または改築を行った施設の割合  算定式：更新または改築を行った施設の数／更新または改築が必要な施設の数	34%	-	100%

## 対象施設数

番号	市内計
A12-001	81
A12-002	1,145
合計	1,226

### 【令和3年度-令和7年度 事業内容】

更新時期を迎える公園施設の安全確保と機能保全を図るとともに、維持管理費の縮減や平準化を図るため、「川崎市公園施設長寿命化計画」を策定し、当計画に基づき施設の更新を推進することとしている。

令和7年度末までに対象となるすべての遊具の更新を行うため、375公園にある1,216基の公園施設（遊具）について、「既存遊具の機能やモチーフを残してほしい」、「より安全で親しみやすい構造・見た目の遊具へ更新してほしい」などの利用者の要望等を踏まえながら更新を行うほか、顕著な劣化が見られたため優先的に更新が必要となった富士見公園と大師公園の野球場等の照明塔について更新を行う。

#### ◆遊具

更新状況→



設置から相当年数が経過し老朽化したスプリング遊具をリンク遊具へと更新



老朽化に加え安全上支障のあるコンクリート滑り台を鋼製複合遊具へと更新



#### ◆照明塔

・富士見公園長方形競技場  
(R3着手、R4竣工)  
⇒更新3基、新設1基

・大師球場 (R6着手、R7竣工)  
⇒更新4基、新設2基

更新状況（大師球場）→



全体的に腐食し、破断・亀裂が見られる照明塔を更新



# 要素事業の進捗状況

【要素事業の進捗状況】

番号	要素事業名 ／事業内容	対象 施設 (基)	更新実施施設 (基)					計画事業費 (百万円)	執行額 (百万円)	執行率		
			計	事業実施期間								
				R3	R4	R5	R6	R7				
A12-001	都市公園安全・安心対策事業 (5か年老朽) ／長寿命化対策 (遊戯施設、公園施設改築・更新)	81	81	計画	実績	▼年度ごとの実績数	70	70	70	100.0%		
A12-002	都市公園安全・安心対策事業 ／長寿命化対策 (遊戯施設、公園施設改築・更新)	1,145	*671	計画	実績	▼年度ごとの実績数	1,330	1,833	1,276	69.6%		
<b>事業 合計</b>		1,226	*752	201	306	101	53	*91	<b>1,400</b>	<b>1,903</b>	<b>1,346</b>	<b>70.7%</b>

※「都市公園事業（富士見公園）」の整備状況

\* R7は見込み値

R6.10 災害時の避難等の拠点となる芝生広場や、緊急車両の進入・滞留を可能とするプロムナード等の整備を完了し、供用開始

財源内訳	国:673
	市:673

※「都市公園事業（等々力緑地）」の整備状況

R5. 3 等々力緑地再編整備事業契約締結、事業開始

# 評価指標の達成状況

【計画に記載した評価指標】

指標名	当初 (R3当初)	目標値 (R7末)	実績 (見込み) (R7末)	達成 状況	達成状況の所見
計画に基づき更新または改築を行った施設の割合	34%	100%	76% 算定式： 1,492基（見込み） /1,966基	未達成 (見込み)	5年に一度実施する長寿命化対象施設の健全度判定において、大師球場照明塔が「早期に更新等が必要」と判定されたことを受け、早急に安全対策を講じる必要が生じた。このため、照明塔の更新を本計画に追加し、優先的に実施したほか、物価高騰等の影響により、遊具の更新数は当初想定より減少し、目標達成が困難な見込み。

算定式「更新または改築を行った施設の数／更新または改築が必要な施設の数」  
 $= 1,492 \text{基（見込み）} / 1,966 \text{基}$

※1 ここで用いる施設数は、川崎市公園施設長寿命化計画に基づき平成28年度から取組を進めている数の積み上げである。

## ◇内訳

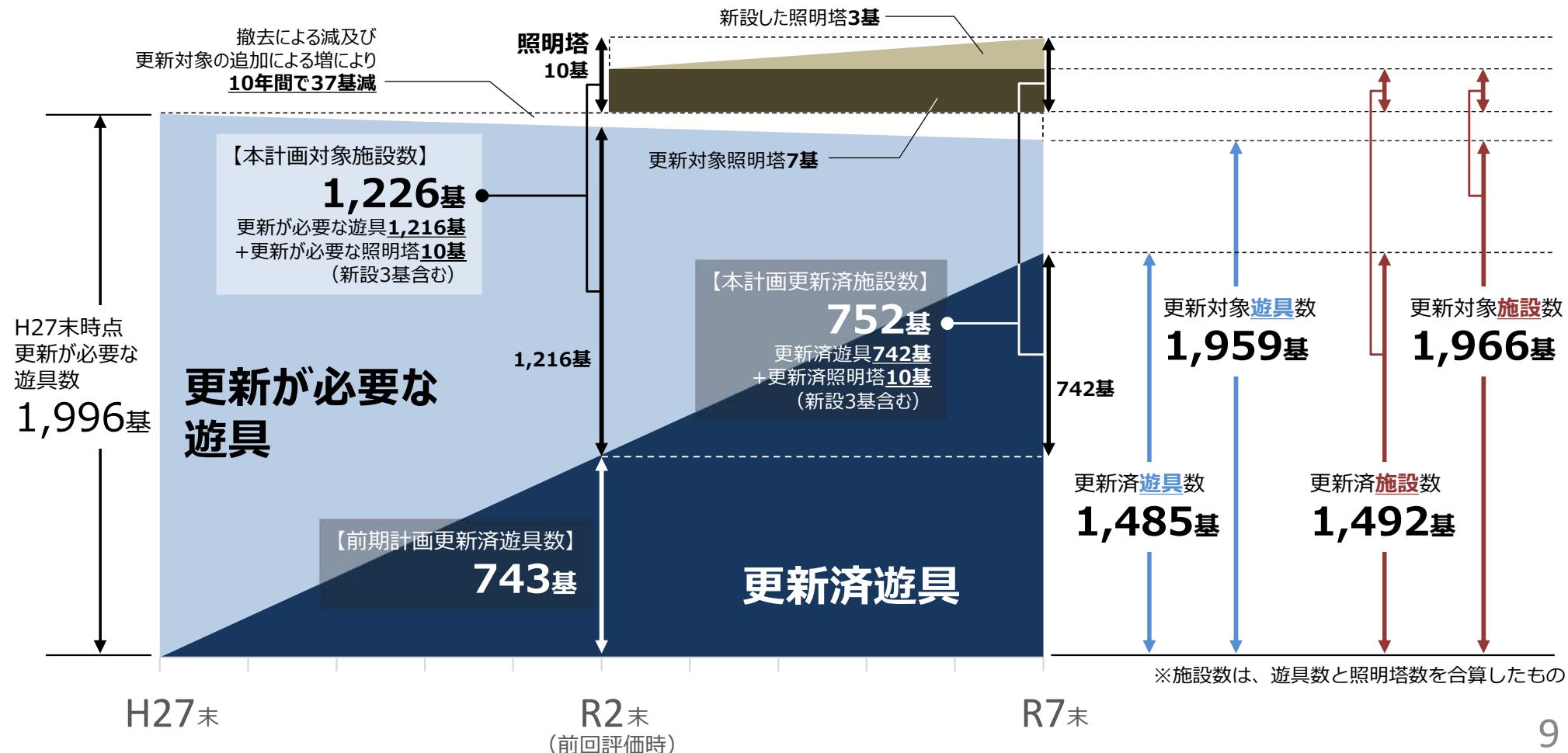
※2 照明塔については、当初は計7基が設置されていたものの、照度分布やライフサイクルコスト等の検討を踏まえ、計10基を新設した。この差分の3基は本計画に基づき実施したものであるが、上記の実績数には含めていない。

区分	更新または改築が必要な施設の数	更新または改築を行った施設の数	前回評価時（R2） 整備済施設数	今回整備施設数 (見込み)
遊具	1,959基	1,485基	743基	742基
照明塔	7基	7基	—	7基
合計	〈分母〉 1,966基	〈分子〉 1,492基	743基	749基

# 補足資料（評価指標の達成状況）

【計画に記載した評価指標】

- 川崎市公園施設長寿命化計画策定時、補修・更新が必要と判断した施設の数は1,996基
- このうち、前回評価時（R2）までに743基の施設を整備
- 本計画では1,226基の施設を整備対象とし、R3からR7までに752基の施設を整備（整備見込み含む）



# 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

指標名	当初 (R3当初)	実績 (R7末)	効果の発現状況
市が管理する遊具のうち、定期点検における劣化診断の結果が「a：健全な状態」「b：軽微な劣化がある状態」である遊具の割合	65% 算定式： 2,670基 ／4,102基	74% 算定式： 3,047基 ／4,102基	本計画に基づき施設の更新を行うことにより、修繕を要しない施設の割合が高まり、事業効果が適正に発現していると言える。

算定式「市が管理する遊具のうち、定期点検における劣化診断の結果が「a：健全な状態」「b：軽微な劣化がある状態」である遊具の数／市が管理する遊具」  
= 3,047基／4,102基 (R7末)

## ○定期点検における遊具の劣化診断

専門家が、打診、計測等により、構造上重要な部位等の劣化を確認するもので、2年に1回実施している。

## ○劣化判定のレベル

部材の劣化判定レベルは (a・b・c・d) の4段階

a：健全な状態

b：軽微な劣化がある状態

c：修繕の必要な劣化がある状態

d：緊急修繕が必要な劣化がある状態

## ※点検結果を踏まえた対応

日常点検や定期点検の結果に基づき、経過観察対応、部材交換等の修繕のほか、場合によっては撤去（または使用禁止措置）を行うなど、適切な対応方法を検討・実施している。

# 公園利用に関する児童・保護者アンケート（アンケート概要）

## ■ 設定指標

- ① 公園における遊具利用率
- ② 遊具更新の認知度
- ③ 遊具更新の好感度

※いずれも、**週1回以上**公園を利用する児童または児童の保護者を対象

## アンケート調査

【実施目的】 事業効果を公園利用者等が実感しているか確認するもの

【実施対象】 遊具更新を実施した公園を学区に含む小学校の児童または児童の保護者

【実施方法】 事業内容や実施箇所等を示したちらしに記載の二次元コードから、アンケートフォームへ案内し回答を得た

【実施期間】 令和7年9月

【有効回答】 416件 (児童: 231件、保護者: 185件)

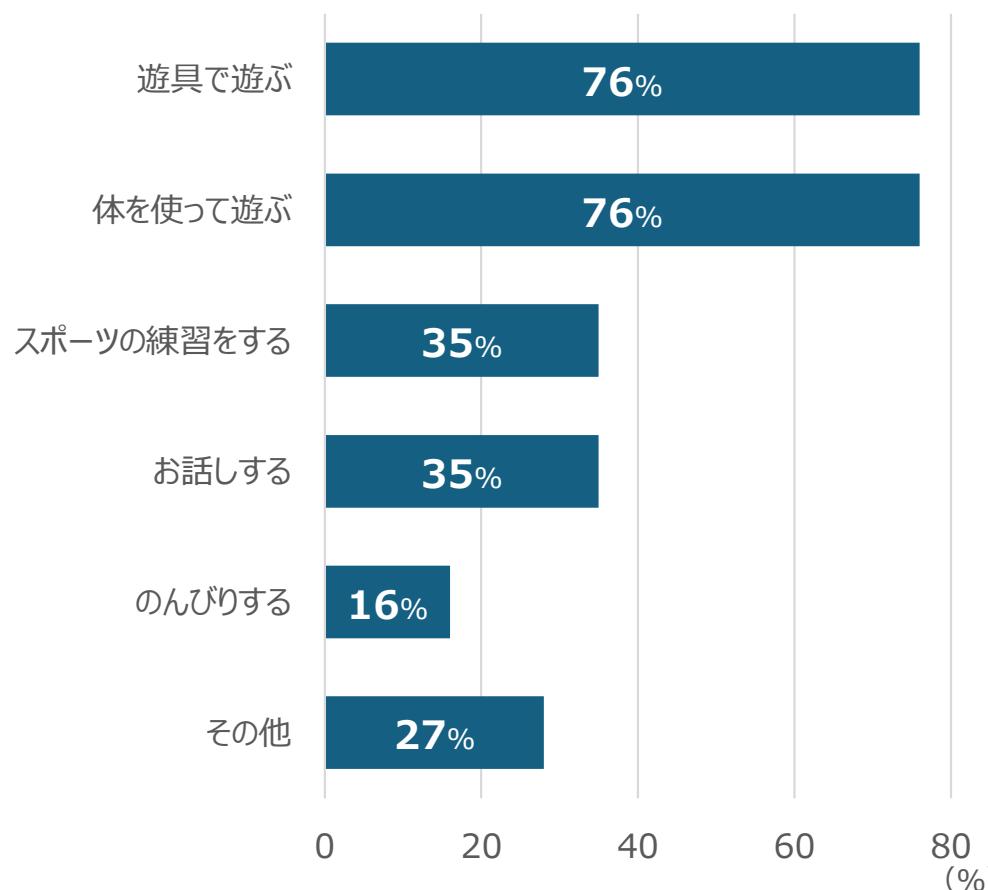
うち、「週1回以上」の条件に該当 | 246件 (児童: 136件、保護者 110件)

# 公園利用に関する児童・保護者アンケート（アンケート①）

## ■ 設定指標

### ① 公園における遊具利用率

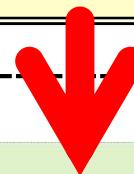
⇒ 【設問1】あなたは（お子様は）何をしに公園に行きますか  
（複数選択）



【回答】 「遊具で遊ぶ」

76%

遊具利用率が高いため、より安全なサービス提供のための遊具更新は、推進すべきであることが確認できた

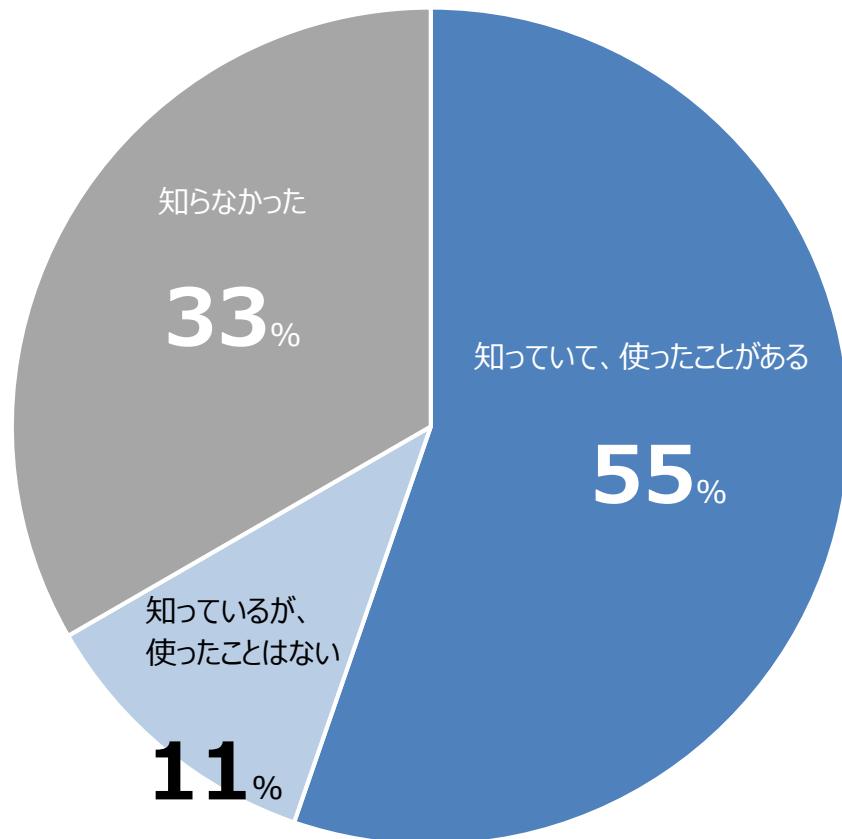


# 公園利用に関する児童・保護者アンケート（アンケート②）

## ■ 設定指標

### ② 遊具更新の認知度

⇒ 【設問2】あなたは公園の遊具が新しくなったことを知っていますか



【回答】「知っていて、使ったことがある」  
「知っているが、使ったことはない」

**66%**



一定の認知度はあるものの、「①公園における遊具利用率」よりも低いため、事業効果浸透に向けた創意工夫が必要である

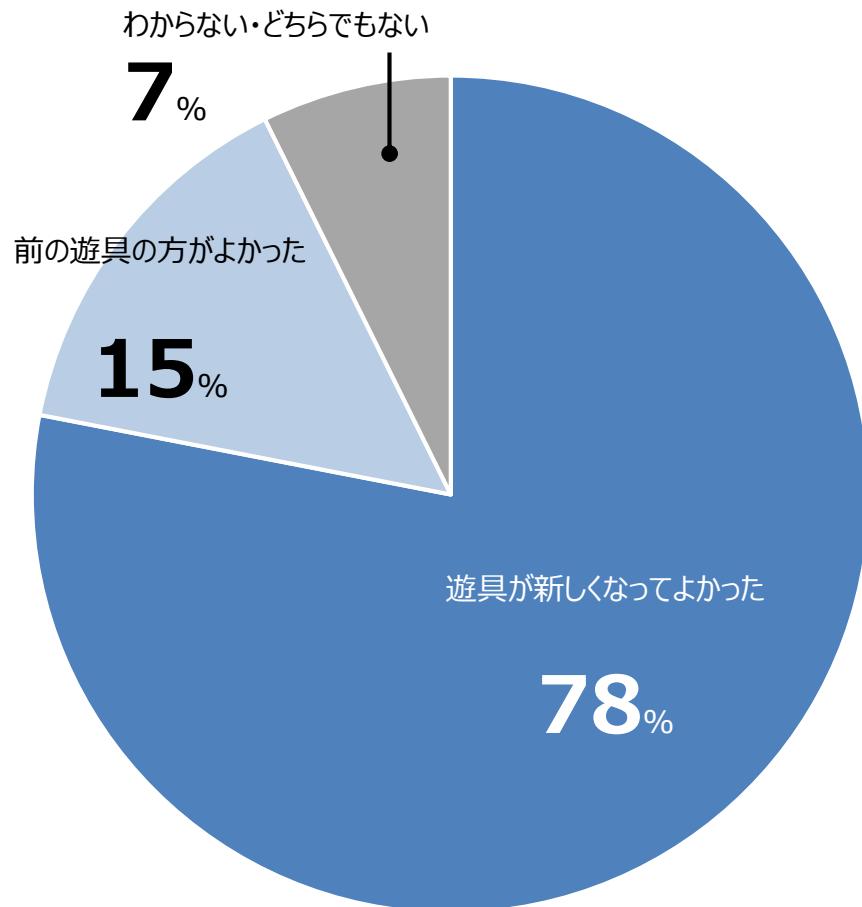
# 公園利用に関する児童・保護者アンケート（アンケート③）

## ■ 設定指標

### ③ 遊具更新の好感度

⇒ 【設問3】あなたは遊具が新しくなってどのように思いましたか

※アンケート②で「知っていて、使ったことがある」と回答した人が、アンケート③の回答対象



【回答】「遊具が新しくなってよかったです」

78%

更新した遊具は、機能は以前と同等であるが、好感度が高いことから、遊具を新しくすることによるイメージアップ効果が確認できた

# 総合的な所見

## 計画の目標

- 老朽化した公園施設の計画的な更新・改築等を行い、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園緑地の整備を推進する。

### ■目標指標の達成状況

- 施設の更新割合について、**未達成**となる見込み
  - 理由 | 長寿命化対象施設を追加し、優先的に整備を進めたことにより、遊具更新に充てられる事業費が減少し、更新遊具数が減少した
    - 物価上昇及び大型遊具等を更新対象にしたことによる遊具更新費の上昇に伴い、更新遊具数が減少した
- 一定の施設は**未更新のまま存置**されており、**安全・安心な公園利用の懸念要因**となっている

一方で..



### ■遊具の劣化状況に応じた更新優先度の変更

- 更新可能数が限られる中においても、劣化が見られる遊具を優先的に更新するよう、**柔軟な運用**に努めている
- 劣化した遊具の割合は減少し、近年は遊具の瑕疵による事故も発生しておらず、**より安全・安心な利用に供することができ**ているため、**計画の目標達成に寄与した**と言える

一方で..



### ■アンケート調査結果

- 遊具利用を来園の目的とする利用者が多く、**遊具更新を行う意義はある**ものの、その認知度については遊具の利用率よりも低く、**事業効果の浸透に向けた創意工夫が必要**である
- 多くの利用者が更新した遊具に好印象を持っており、より快適な利用に供することができているため、**計画の目標達成に寄与した**と言える



安全・安心で快適な公園施設の提供を実施できたことが認められ、**計画目標は概ね達成できた**ものと考えている

# 今後の方針

## ■ 次期計画

計画期間 令和8年度～令和12年度 の整備計画を作成予定

## ■ 次期計画に向けた取組

- ・現整備計画期間中に未実施となった施設について、日常点検等における状態把握及び適切な修繕・更新を実施するとともに、利用状況等に応じて更新の要否や優先度について検討する
- ・現整備計画期間中に更新を実施した施設についても、日常点検等における状態把握及び適切な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る
- ・事業についての効果的な広報や、利用者参加型の整備手法等により、事業実施における公園利用者の認知度向上に取り組む
- ・公園緑地における施設について、使用見込み期限が超過し、更新を要する施設は依然として残存していることから、川崎市公園施設長寿命化計画の改定の取組を進めるとともに、これを踏まえた次期計画の作成及び長寿命化の効果を適切に判断できる指標の検討、さらには利用者ニーズを踏まえた施設選定等を引き続き意識しながら、更新に取り組む